

20建発第52号

平成20年10月6日

国土交通省道路局長 殿

土庄町長 岡 田 好



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

このことについて別紙様式のとおり回答します。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ①

① 道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

香川県土庄町

平素は本町の土木建設行政に格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

道路行政全般について改善すべき点、要望でございますが、小豆島は島ですが離島ではありません。しかしながら、環海性、隔絶性、狭小性という地理的特性から、島内のみで一定の生活圏を形成しなければならず、さらに、経済面で不利な競争条件にあります。その上、近年島を取り巻く状況は、農林水産業、公共事業の低迷やそれに伴う大幅な人口減少、高齢化の加速により、非常に厳しいものとなっています。

一方で島周辺は、排他的経済水域等の保全、海洋資源の利用、自然環境の保全等について重要な役割を担うとともに、海岸等の自然とのふれあいを通じた癒しの空間の提供等の国民的役割を備えています。このような役割が適切に果たされるためには、地域に人が定住し、生活を営んでいることが重要であり、その地理的・自然的特性を価値ある地域差として評価し、地域における創意工夫を活かした定住・雇用促進策等の振興を図ることにより、自主性を重視した島の発展を促進していくことだと思っております。

こういった過疎地域に十分配慮した具体的な振興策を模索中であります。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ②

②－１ 地域の現状と抱える課題

香川県土庄町

○現状

近年島地域を取り巻く状況は、観光産業、農林水産業、公共事業の低迷やそれに伴う大幅な人口減少、高齢化の加速により、非常に厳しいものとなっている。

○課題

- 産業・生活基盤等の面で他の地域に比較して低位にある状況を改善する。
- 島の特産品の生産及び産地加工の促進。
- 恵まれた自然環境を利用した魅力ある島観光の発掘。

②-2 地域の目指すべき将来像

産業・生活基盤等への面で他の地域に比較して低位にある状況を改善するため、港湾、道路等交通施設の整備、島と島、島と四国・本土とを結ぶ航路の維持・利便性の確保、高度情報通信ネットワークの整備及び医療、教育、産業等への利活用の促進、農林水産業基盤の整備、渇水対策の推進、医療・福祉体制の整備、防災対策の推進等を図る。

島の産業再生のため、地域の基幹産業である農林水産業のより効果的な振興を図るとともに、加工・流通体制の整備、販路拡大、関連企業との連携等により、特色ある島産品の生産及び産地加工を促進する。また、海洋性気候等恵まれた自然環境を活用した保養・療養活動、滞在型余暇活動などの魅力ある島観光を促進する。また、島に固有の自然環境や景観の保全、伝統文化の継承と発展等を図る。

このまま人口減少等が進めば、その重要な役割を果たすことが困難となるおそれがあることから、交通アクセスの改善、農林水産業を中心とした産業振興、観光振興等に対してなお一層の努力検討し、島の維持管理に努めたい。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ④

③ 道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

香川県土庄町

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
・地域活力の向上	① 町道吉ヶ浦4号線 土庄港周辺での一般送迎、タクシー待合、マイクロバス用の用地がなく、私有地等に停めて所有者とのトラブルが頻発している。 ② 国道436号 土庄港～高松港の航路で高速艇が燃料高騰のため1日16便が1日8便に減便したため、利用者が困惑している。	① バスターミナル、駐車場を整備し、船舶利用者の利便性を図る。 ② 土庄港～高松港間の航路は国道436号になっており、道路特定財源を活用し、高騰した差額分について補助金等がつかないか。	
・地域の快適な暮らしの向上	① 県道土庄福田線 県道土庄福田線の上庄地区でまだ1車線の所があり大型車が通ると交差できない状態である。 ② 県道本町小瀬土庄港線(バイパス) 土庄港に南海・東南海大地震を想定した耐震岸壁が完成する中、緊急物資等を搬送する経路となる国道436号が人口集中地区に走っているため、地震により家屋が崩壊すると通れなくなる。	① 2車線、歩道を整備し、通勤、通学等安全な走行を図る。 ② 現在継続中の県営事業の早期完成を計り、住民の暮らしの安定を図る。	